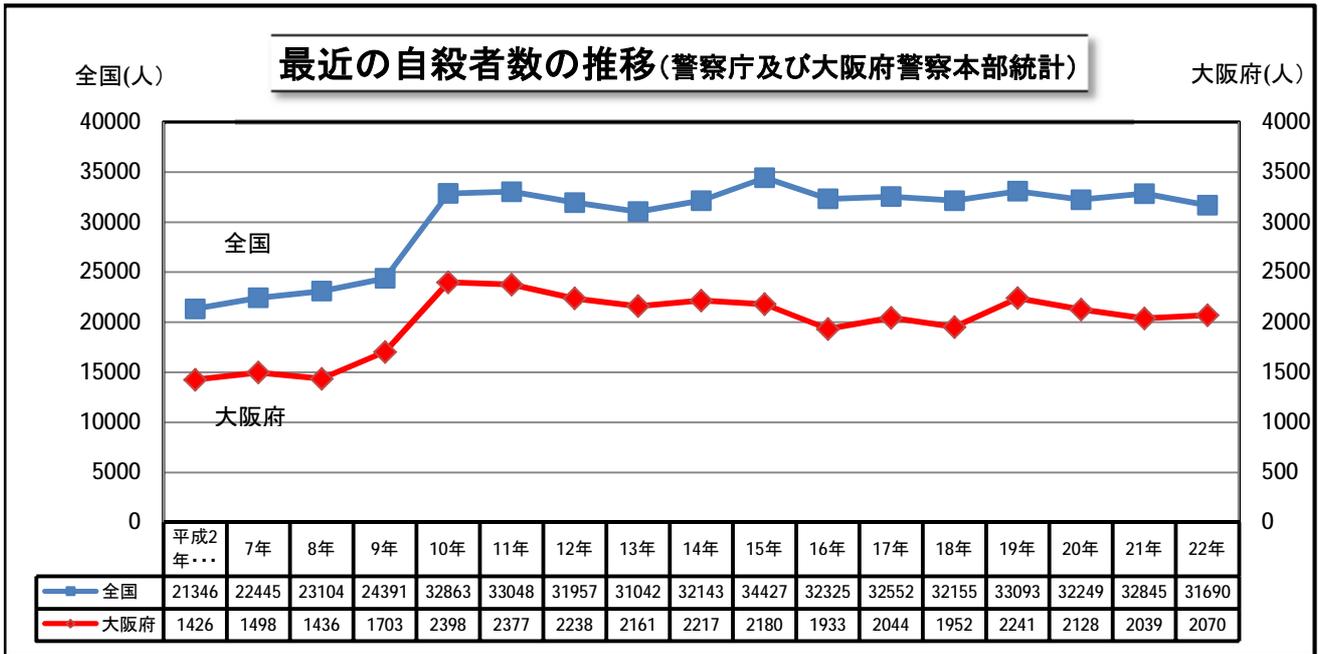
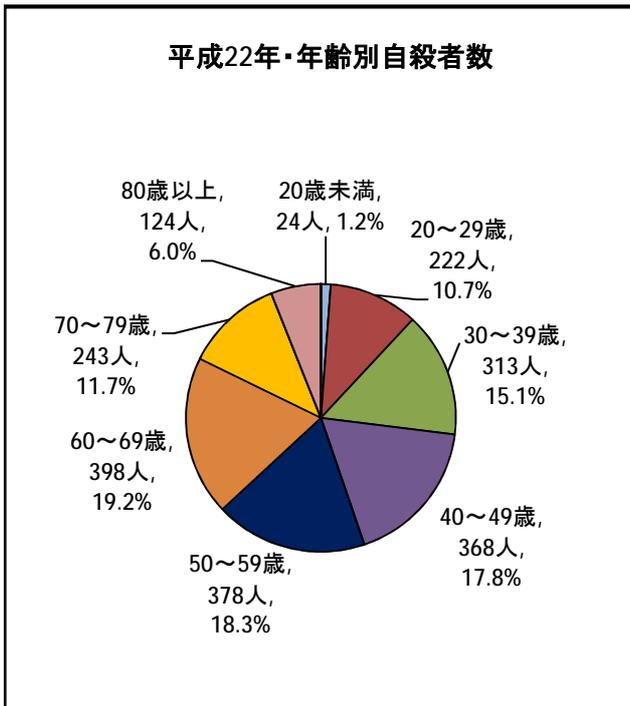


# 大阪府の自殺の概要<平成22年>

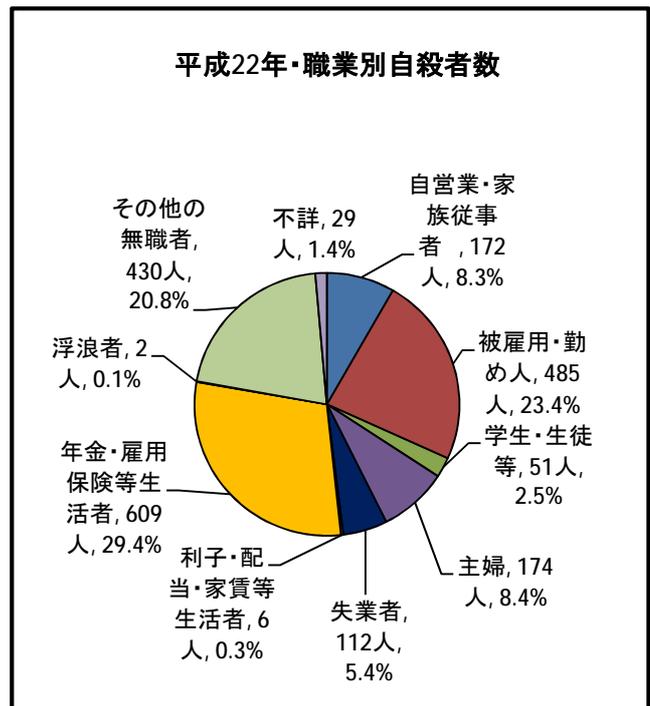
※警察庁及び大阪府警本部統計



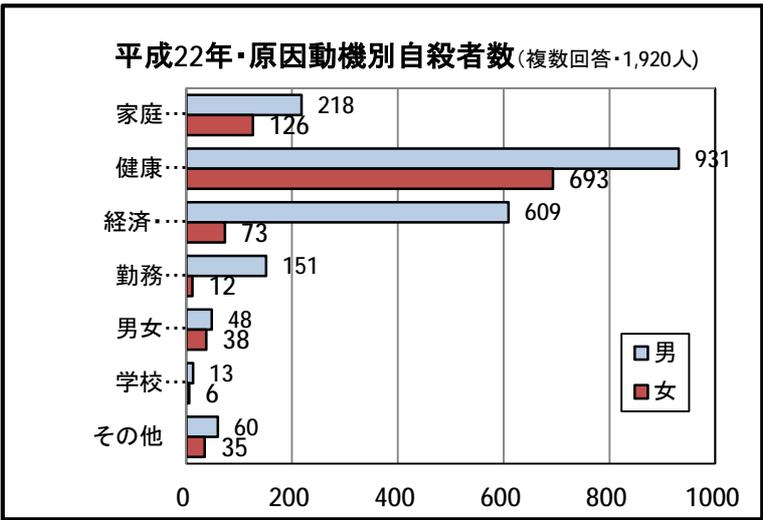
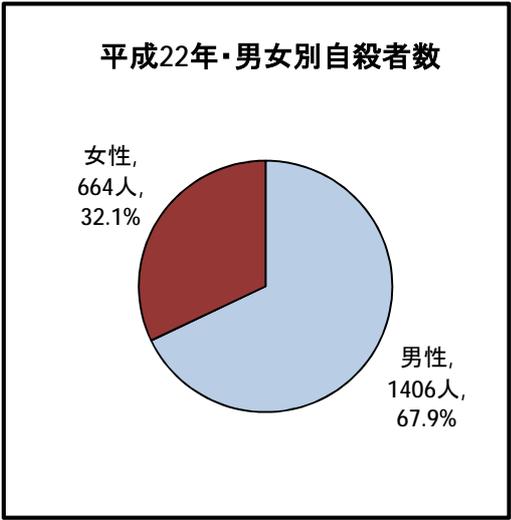
全国の平成22年の自殺者数は、31,690人と昨年より減少しているが、大阪府の自殺者数は2,070人と増加しています。



大阪府の平成22年の年齢階層別自殺者数の割合は、60代が398人(19.2%)と最も多く、次いで50代が378人(18.3%)、40代が368人(17.8%)、30代が313人(15.1%)、70代が243人(11.7%)、20代が222人(10.7%)、80歳以上が124人(6.0%)、20歳未満が24人(1.2%)の順になっており、中高年層の割合が高くなっています。



大阪府の平成22年の職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が609人(29.4%)と多く、次いで「被雇用・勤め人」が485人(23.4%)、「その他の無職者」が430人(20.8%)、「主婦」が174人(8.4%)、「自営業・家族従事者」が172人(8.3%)の順になっています。



大阪府の平成22年の男女別自殺者数は、男性が1,406人(67.9%)、女性が664人(32.1%)となっています。男性が女性の2倍以上で、全国と同じ傾向にあります。

平成19年から原因・動機を3つまで計上することとしており単純に比較はできないが、男女とも「健康問題」が圧倒的に多く、「経済問題」については男性が女性の8倍にもなっています。